

団体同士が連携して事業をしていく  
にはどうしたらいいでしょうか？

アイデア紹介

幅広い年齢層が集まる機会

体育祭でチラシを入れた  
水切りネットを  
配る



おトク感 自然に参加

個々の活動の重なり合いをつくる

～鷹岡地区では、  
体育祭で水切りネットを配布しました～  
一見、「なぜ？」と感じる取り組みですが、個別  
の活動の架け橋のような重なり合いをつくるこ  
とで生まれたアイデアでした。



みなさんの  
地区の活動や人が  
どのように  
つながっているか、  
確認してみは？

ゴミ減量『より多くの方に  
関心をもって、  
行動に移して  
もらおう』

生活環境美化活動

古紙回収

報奨金を活用して印刷

まちの歴史を  
知ってほしい

歴史発見講座



→冊子作成

→全戸配布

社会教育活動

【あえて説得しない・まずは参加を呼びかける】

鷹岡地区では、地域で子どもを育てることを実践しようと平成  
24年度から「通学合宿」を行っています。まちづくり協議会会長  
の松田幸雄さんは、この取り組みを始める際、「子ども」に関わる  
活動をしている団体にあえて説得はせず、まずは協力を働きかけ、  
できる範囲で参加してもらいました。そのなかで「なぜこれをする



の？」という質問が出てくるのを待ちました。その時に、ねらいをしっかりと説  
明したのだそうです。すると、『参加するみなさんの関わり方が自発的になっ  
ていった』と話します。信頼関係と、活動という共通の体験があるからこそ、ね  
らいが理解されやすいのかもしれない。

鷹岡地区まちづくり協議会会長 松田幸雄さん

地区に新鮮な意見を期待して～富士市立高校の総合的学習『究タイム』市役所プラン

富士市立高校では、毎年2年生の全生徒が、地域の魅力や課題を発見し、自分たち  
は何ができるか、半年間じっくりと向き合う学習を行っています。5月12日、生徒  
のみなさんが10のグループに分かれ、まちづくりセンターを訪れました。

松野地区では、まちづくり協議会会長西森共二さんからの歓迎の挨拶の後、4つの  
テーマで地区役員のみなさんと生徒がテーブルを囲んで地区の特性やまちづくり活  
動についてのミーティングを行い、地区の施設や史跡などを見学しました。役員のみ  
なさんにとっては説明の準備をすることで、あらためて活動をふりかえる機会に  
なったとともに、高校生からの新鮮な意見、提案に期待もふくらんでいました。



# ゴブタ<sup>②</sup> レポート

地域のカゴ増進計画・ニュースレター

## まちづくり行動計画を つくる の巻



発行 平成 27年 6月  
発行者 富士市民部まちづくり課  
富士市永田町1丁目100番地(富士市役所3階)  
電話 0545・55-2887  
HP <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

まちづくり行動計画づくりの方法は、富士市  
内 26 地区でみな同じではありません。それぞ  
れの特徴を生かしながら進められています。  
他の地区の様子を知ることで、自分たちのま  
ちの特徴がわかるかもしれません。少し周囲  
を見渡し、あらためて「わがまち」らしさを見  
つけ、計画に生かしてみませんか？

今、「まちづくり行動計画」をつくるのは…



このニュースレターでは、今年度完成を目標に、各地区で進められているまちづくり行動計画づくりの様子をお知らせするほか、協議会を運営していくうえでの課題に対応したヒントなどもご紹介いたします。それぞれの地区のまちづくり行動計画づくりや協議会活動の活性化にぜひお役立てください。

